

I. はじめに

学校教育法第 109 条第 1 項および神戸市外国語大学内部質保証方針に基づき、評価企画会議を中心に大学の諸活動について全学的な課題の把握に努め、その課題解決に向けた取組みを実施している。この報告書では、2022 年度の評価企画会議での自己点検・評価の取組みについて報告を行う。

II. 自己点検・評価のために用いた情報

自己点検・評価実施要項第 4 条に基づき、評価企画会議において以下の情報を用いて全学的な自己・点検評価を行った。

- ① 学生動態報告
- ② 入学定員充足率及び収容定員充足率
- ③ 法人評価委員会の評価結果
- ④ 中期計画・年度計画の進捗状況及び達成状況
- ⑤ 理事会、経営協議会等における外部委員の意見等
- ⑥ 認証評価の結果
- ⑦ 学生生活調査結果

III. 自己点検・評価の結果

総 評 : 自己点検・評価を行った結果、概ね適切に実施されていることが確認できた

なお、その他個別に把握された課題と検討状況について、学校教育法第百十条第二項に規定する基準を適用するに際して必要な細目を定める省令（平成十六年文部科学省令第七号）第一条第 2 項に定める 9 項目に準じて分類し報告する（※2022 年度の取組みで該当のない項目は表示しない）。

- イ 教育研究上の基本となる組織に関すること
- ロ 教育研究実施組織等に関すること
- ハ 教育課程に関すること
- ニ 施設及び設備に関すること
- ホ 3 ポリシー（卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針）に関すること
- へ 教育研究活動等の状況に係る情報の公表に関すること
- ト 内部質保証（教育研究活動等の改善を継続的に行う仕組み）に関すること
- チ 財務に関すること
- リ イからチまでに掲げるもののほか、教育研究活動等に関すること

イ 教育研究上の基本となる組織に関すること

○ 神戸高专との同一法人下での運営に伴う組織改正

2023 年度より神戸高专との同一法人下での運営に移行するにあたり、第 3 期中期目標、中期計画の変更及びすべての例規の見直しを行った。

○ 大学の目的、大学院の目的、教育研究上の目的

大学、大学院の目的及び学部・学科、研究科・専攻等の教育研究上の目的を学則に反映させた。

○ 定員充足率の適切な管理

大学及び大学院の入学定員及び収容定員充足率の自己評価や改善に向けた取組みを行う組織を明確化するため、評価企画会議で行う自己点検・評価項目に追加することにより、継続的に確認する仕組みを整えた。

また、大学院において、入学定員充足率及び収容定員充足率の推移を確認し、既存専攻での授業科目、授業実施方法、入試制度等の改革を検討することとなった。

□ 教育研究実施組織等に関すること

○ 専任教員の授業担当比率の検証

教育上主要と認める科目における専任教員の授業担当比率の改善については、引き続き検討を行う。

○ データ集計上の課題改善

留学における学生動向を正確に把握するため、休学願の様式変更、留学区分に関する統一基準の策定等について、学生支援部会及び国際交流部会で協議していくこととした。

ハ 教育課程に関すること

○ 成績評価基準の見直し

成績評価基準が科目の到達目標を考慮したものとなるよう、学習到達度との関係を明確に示した基準に見直しを行った。

○ カリキュラム・マップ

授業科目とディプロマ・ポリシーとの関連をより体系的に示すカリキュラム・マップに見直した。

○ 授業形態

現在のカリキュラムにおける各科目の授業形態について、整理を行った。

○ シラバスのチェック体制

シラバスガイドライン・入力マニュアルの確認を行い、適切にシラバスのチェック機能が働いているか確認を行った。

○ 研究指導計画の見直し

修士、博士の課程ごとに指導方法についての記載を充実させるなど、研究指導計画の見直しについて、引き続き検討を行う。

○ 情報リテラシー教育・AI人材育成方針

初級レベルの数理・データサイエンス・AIの習得に向けて、「①入試改革、②数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定の取得」を柱として取り組むことを決定した。

・入試改革については、2025年度入学者選抜より、一般選抜（前期・後期日程）において、大学入学共通テスト「情報Ⅰ」を必須科目とすることとした。

・数理・データサイエンス・AI教育プログラムの認定に向けて、カリキュラムの見直し等を行い、2025年度の認定を目指すこととした。

ニ 施設及び設備に関すること

○ ICT環境の充実

年度計画の進捗確認時に確認された課題の改善に向け、ICT 環境の充実を目的とした他大学の視察を行い、2023 年度以降に実施する教室機器更新の参考とする成果を得られた。

ホ 3 ポリシーに関すること

○ 大学院アドミッション・ポリシーの見直し

大学院のアドミッション・ポリシーにおいて、「求める学生像」と「入学者選抜の基本方針」を明確に示す形に修正を行った。

○ 大学アドミッション・ポリシーの見直し

教学マネジメント指針（追補）で示された入学者受入れの方針等に関し、本学の適合状況を確認し、不適合箇所があれば改善を行うこととした。

へ 教育研究活動等の状況に係る情報の公表に関すること

○ 大学情報の公表

適切な情報公表の観点から大学ウェブサイトの見直しを行い、必要な情報が適切に公表されるように修正を行った。

○ リサーチマップの更新

リサーチマップの更新を促進するため、より教員の利便性が向上する方法について検討を行った。

ト 内部質保証に関すること

○ 自己点検・評価実施要項の策定

内部質保証方針に基づき、評価企画会議が行う自己点検・評価について定める自己点検・評価実施要項を策定した。

○ 学修成果の可視化

学修成果の可視化のためのポートフォリオを 2023 年度中に導入するべく、業者からの説明を受けるとともに、カリキュラム・マップの見直し等、制度の整備を行った。

ロシア語、中国語、イスパニア語の外部語学検定試験の受験を促進するため補助制度を開始した。

○ FD・SD 活動

FD・SD 活動に関するウェブページを作成し、授業評価アンケートや教員表彰制度等の結果について適切に公表した。

チ 財務に関すること

○ 公立大学法人神戸市外国語大学評価委員会での法人評価

法人の決算報告、財務諸表等について法人評価委員会において、報告を行った。